

第31回「知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」開催

平成29年11月18日（土）、ゆうちょ財団主催の「第31回 知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」が、呉市の呉市生涯学習センターにおいて開催されました。

今回の講座は、「親も子も不安なく暮らすために今からできること～ライフプラン・親なき後を考える～」をテーマに、講師は「障がいのある人とご家族のライフプランを考える会」会長で、ファイナンシャルプランナーの石川 智氏が務めました。

障がいのある子の親は、「いつまで、どれくらい、子どものために経済的支援をしたらいいのか?」「障がいのある子は何歳まで就業したらいいのか?」「仮に、将来本人が暮らせるくらいの貯蓄がない場合は、どうすればいいのか?」などの不安を抱えています。

この不安を具体的にすると、子のトータルでの生活費は不足しないか（子がどれくらい準備できるか、親はどう支援するか）、相続に関すること（兄弟姉妹との関係はどうか）、今後の子の金銭管理に関すること（成年後見人をつけるか、日常生活費の管理は誰に支援してもらうか）などとなります。

これらの不安は、どうしたらいいのか分からない、どのように計画・準備をすればいいのか分からないから起こることです。

今回の講座では、これらの不安の中身について、今の不安、将来の不安、親なき後の不安に分けて、それぞれどのように考えていくか、どう準備していくかを、具体例を交えて説明しました。

講師が強調したのは、子のライフプランが実現できても、それが親の犠牲の上に成り立つのは間違いだということです。まずは親の老後資金を確実に準備することが重要です。

親がまず自分が感じているお金の不安を確かめ、それと向き合い、確実に対策を立てることで、親も子も不安なく暮らすことになるとの説明に、参加者からは「親として少し気が楽になったこと、考えなければならなかったことが整理できました」との感想をいただきました。



次回の金融教育支援員セミナーは、平成30年1月20日（土）に名古屋市で開催します。多くの方の参加をお待ちしています。